

令和6年度 指定管理者の管理運営に対する年度評価シート

| 施設概要 | | | |
|---|--------------------------|---|----|
| 施設名 | 山形市民会館 | | |
| 指定管理者（選定方法） | 山形市民会館管理運営共同事業体（選定方法：公募） | | |
| 指定期間 | 平成27年4月1日～令和7年3月31日 | | |
| 利用料金制導入の有無 | 無 | | |
| 施設所管課 | 文化スポーツ部文化創造都市課 | | |
| 評価 | | | |
| 評価の区分 | S | 協定書、仕様書どおりに実施され、計画や目標を上回る実績（効果）があった場合 | |
| | A | 協定書、仕様書どおりに実施され、概ね計画や目標どおりの実績（効果）があった場合 | |
| | B | 協定書、仕様書どおりに実施されたが、計画や目標を下回る実績となるなど（効果が少ない場合を含む）、改善を要する必要がある場合 | |
| | C | 協定書、仕様書どおり実施されなかった場合 | |
| | － | 評価項目が該当しない | |
| 評価区分 | 評価項目 | 評価ポイント | 評価 |
| 管理運営の状況 | 人員配置 | 人員配置は過不足なく適切に行われたか | A |
| | 有資格者の配置 | 必要な有資格者の配置は適切に行われたか | A |
| | 資質向上 | 職員の資質向上を図る取り組みは適切に行われたか | A |
| | 受付・接客 | 接遇向上を図る取り組みは適切に行われたか | A |
| | 平等利用 | 特定の利用者を有利または不利に扱うことなく、取り扱いが適切に行われたか | A |
| | 利用者サービス向上 | 利用者サービス向上を図る取り組みは適切に行われたか | A |
| | 広報 | 利用者への広報は情報提供として適切に行われたか | A |
| | 備品・建物等の管理 | 備品・建物等の財産の管理は適切に行われたか | A |
| | 安全対策 | 利用者の安全確保の取り組みは適切に行われたか | A |
| | 危機管理 | 緊急時に備えての研修・訓練等は適切に行われたか | A |
| | 事故・苦情の対応 | 事故・苦情に対する対応は適切に行われたか | A |
| 利用の状況 | 開館日数 | 開館（日数）は適切に行われたか | S |
| | 開館時間 | 開館（時間）は適切に行われたか | S |
| | 利用件数 | 利用件数は目標を達成したか | B |
| 事業実施の状況 | 実施回数 | 実施回数は目標を達成したか | A |
| | 参加者数 | 参加者数は目標を達成したか | B |
| | 事業内容 | 事業の内容は施設の設置目的にあう適切なものであったか | A |
| 満足度の調査 | 利用者満足度の把握 | アンケート等を実施して利用者満足度の把握は適切に行われたか | A |
| | 利用者満足度向上 | アンケート結果等により利用者満足度向上を図る取り組みは適切に行われたか | A |
| 維持管理の状況 | 清掃（日常） | 業務は計画どおり適切に行われたか | A |
| | 清掃（定期） | 業務は計画どおり適切に行われたか | A |
| | 保守点検（日常） | 業務は計画どおり適切に行われたか | A |
| | 保守点検（定期） | 業務は計画どおり適切に行われたか | A |
| | 保安警備 | 業務は計画どおり適切に行われたか | A |
| | 修繕等維持管理 | 修繕等は適切に行われたか | A |
| 収支の状況 | 経費の縮減 | 経費縮減についての取り組みは適切に行われたか | A |
| | 利用料金の収受 | 利用料金の収受は規定の料金を適正に収受するなど適切に行われたか | A |
| | 利用料金の減免 | 減免の申請手続がなされた場合、処理は適切に行われたか | A |
| | 経費の縮減 | 経費縮減についての取り組みは適切に行われたか | A |
| | 収入の増加 | 収入増加についての取り組みは適切に行われたか | A |
| 総括評価 | | | |
| <p>各種事業の企画・実施について、市民会館スタッフが準備段階からアドバイスを行う事業など、市民や文化団体の自主的で主体的な活動の支援を積極的に行ったことや、山形市では鑑賞する機会や参加する機会の少ないミュージカルの分野で、両方の体験ができる機会を提供したことは、新たな文化創造都市の推進の取り組みであり評価できる。引き続き、市民が気軽に文化を鑑賞したり、文化活動に参加できるような事業を開催し、利用者数、参加者数の増加につながることを期待する。</p> <p>施設の運営管理に関しては、老朽化が顕著な施設であることから、予防保全の観点で計画的な修繕を継続的に行う取り組みを行うことにより、利用者の安全確保の意識が見られた。引き続き、市民等が安心して利用できるよう維持管理を行うとともに、近年多発している自然災害による有事の際の職員の行動についても職員間で共有し、市民にとって身近で利用しやすい施設であり続けることを期待する。</p> | | | |